

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆地下シェルター1000万人分に倍増 政府、ミサイル避難で備え

・政府は武力攻撃から避難する国内の地下シェルターの収容人数を1000万人分に倍増させる。一時避難に活用できる商業ビルや地下駐車場といった既存施設の洗い出しを急ぐ。2025年度中に「実施方針」をまとめ、地方自治体の指定を促す。食料などの備蓄品を含むシェルターの機能など制度の設計を進める。

◆バイト時給、4月3.0%高 専門職・フード系の上昇目立つ

・リクルートグループが20日発表した4月のアルバイト・パート募集時平均時給は、三大都市圏(首都圏、東海、関西)で前年同月比37円(3.0%)高い1260円だった。人手不足を背景に専門職系やフード系の上昇が目立つ。新年度に入り、十分な人手を確保できなかった企業もあり、求人意欲は引き続き強い。

◆住宅手当拡充で社員支援 セブンイレブンは月6000円増

・住宅手当を拡充する企業が増えている。採用の促進や社員のエンゲージメント(働きがい)向上につなげる狙いで、セブンイレブン・ジャパンは2025年2月から転勤者に毎月支給する住宅補助額を最大6000円増額した。一時期は廃止の動きが広がっていた住宅手当だが、住まいのコストが膨らむ中で、見直し機運が高まっている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆TOTOが本社ビル建て替え 27年完成、延べ床面積2倍に

・TOTOは北九州市にある本社ビルを建て替えると発表。本社敷地内で現本社ビルとは別の場所に2027年の完成を予定。新本社ビルは4階建て、延べ床面積は9540平方メートルで現在の2倍になる。食堂などが入る厚生棟も建て替える。現本社ビルは1964年に完成した。鉄筋コンクリート造り5階建てで、タイル張りの外壁を持つ。

◆長期優良化リフォームの事業者登録開始 交付申請は5月下旬以降

・国土交通省は2025年度の長期優良住宅化リフォーム推進事業について、事業者登録および住宅登録の受付を開始。I期とII期に期間を分割して交付申請を受け付け。I期の交付申請受付は5月下旬以降に開始する予定。補助率は3分の1で、認定長期優良住宅型は160万円/戸、評価基準型および提案型では最大80万円/戸を上限。

◆4月の首都圏マンション発売戸数3%増 平均価格は下落

・不動産経済研究所が20日に発表した4月の首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の新築マンションの発売戸数は、前年同月比3%増の1006戸だった。プラスは6カ月ぶり。東京都で供給戸数が減ったが、千葉県の大型物件が全体をけん引した。平均価格は3カ月ぶりに下落した。

《 注目商品 》

■パナソニック、おひさまエコキュートに初の寒冷地仕様

・太陽光由来の電力を活用して昼間にお湯を沸かす「おひさまエコキュート」で初の寒冷地向けモデルを7月10日に発売すると発表。湯をためるタンクに凍結予防ヒーターを内蔵。北海道や東北地方、長野県や新潟県などの顧客を取り込む。



■ソニー系、2倍冷やせる「着るエアコン」

・ソニーサーモテクノロジーは「着るエアコン」の上位モデル「REON POCKET PRO(レオン・ポケット・プロ)」を発売すると発表。温度管理する機構を初めて2つ搭載し、体にふれて冷たさを感じられる部分の面積を2倍に増やした。



■東芝ライフスタイル、3カ月ゴミ捨て不要のスティック型掃除機

・「TORNEO cordless(トルネオ コードレス)」シリーズの新ラインアップとして、吸引力の強い紙パック式コードレススティック掃除機VC-CLP54を7月上旬より発売。抗菌・消臭機能付きの紙パック「ふくらむパックVPF-31」を新開発。

